

2014年8月25日

医療機器開発で政府が中小企業支援...病院と連携

政府は、全国の中小企業と病院、研究機関などが連携し、新たな医療機器の開発を目指す「医療機器開発支援ネットワーク」(仮称)を10月にも設立する方針を固めた。

精密機械や電子部品などを手掛ける企業に、医療機器分野への進出を促し、地方経済の活性化にもつなげる狙い。血管に挿入する細い管(カテーテル)や人工関節などを中心に、2020年までに約100件の実用化を目指す。

経済産業省が、ネットワークの運営費など約40億円を15年度予算の概算要求に盛り込む。厚生労働省や文部科学省も協力し、中小企業や医療機関など約1000社・機関が参加する見込みだ。地方には優れた技術を持ち、市場拡大が見込まれる医療機器分野への進出を試みる企業も増えているが、「製品開発に必要な情報の入手が難しい」「医療機関への売り込みが困難」といった課題があった。

以上